

2013年度「信教の自由を守る日」

# 東部中会 2・11集会

主催：東部中会社会問題委員会

## 講演「信教の自由と維新の思想」

講師：熊田雄二牧師（日本キリスト改革派上福岡教会）

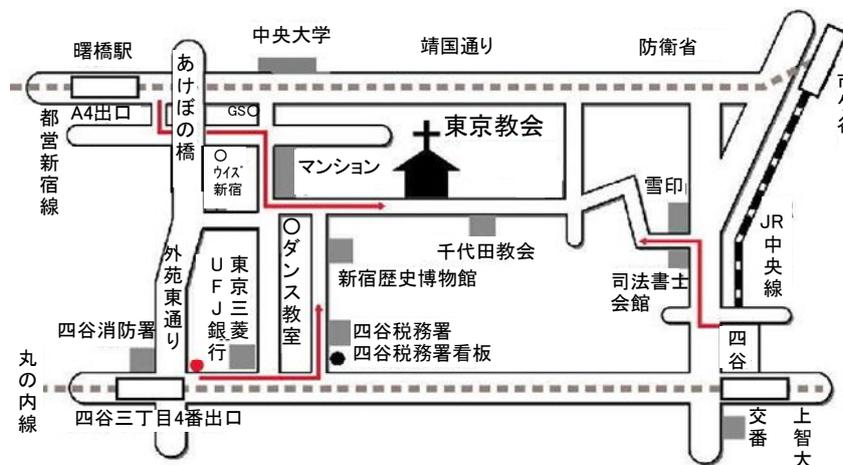
（東部中会社会問題委員会委員長）

2013年 2月11日（月：休日）

午前 10時30分～12時（席上献金があります）

場所：日本キリスト改革派 東京教会 電話03-3351-6610

〒160-0002 東京都新宿区坂町 16（JR四ツ谷駅徒歩15分）



### 「信教の自由と維新の思想」（講師のからの言葉）

日本キリスト改革派教会創立30周年宣言、「教会と国家に関する信仰の宣言」は、国家が絶対的権能をほしいままにする事態になったら、キリスト者は「抗議、拒否、抵抗」すべきだと語っていました。維新の思想が絶対的権能をほしいままにする事態になったら、「抗議、拒否、抵抗」の次が求められます。維新の思想の本音は、近代国家の理念である「信教の自由と政教分離」ではなく、皇室神道を中心とする全体主義国家の体制にあります。

これが支配的になれば、歴史的に教会が経験してきた迫害となりますから、キリスト教徒の身に起こることへの備えが必要となります。古代ローマ帝国でも江戸時代でも、妥協・背教・棄教をしない者は、「隠れ」となるか殉教以外に、逃れの道はありませんでした。また教会は、背教者が戻って来た場合、許すか許さないか、何らかの戒規をせざるを得ませんでした。今、私たちは、個々人の思想信教の自由が、国家の思想によって消滅する事態を想定外としない準備が必要です。